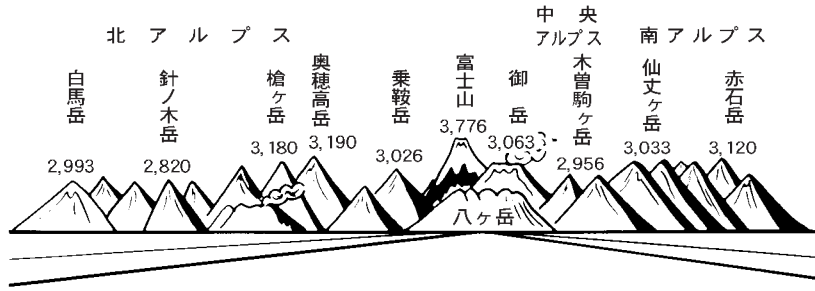


第 34 号

平成16年3月



砂防ニュースレター「長野」

(題字 山田一榮 会長)



御柱祭
(木落とし)

砥川 (諏訪郡下諏訪町)



目 次

第65回長野県治水砂防協会通常総会 2
 全国治水砂防促進大会の開催と要望活動 3
 平成16年度予算政府原案 3
 長野県砂防技術研究協議会
 「砂防と環境」 4

急傾斜地崩壊対策事業
 大岡村権内地区にて植樹祭 4
 環境砂防会議 5
 大韓民国砂防視察と文化交流会 6
 台湾・ネパールの砂防技術者が県内視察 7
 長野県地すべり防止工事士会 NPO法人を取得 8
 平成15年度の定礎式・竣工式 8



長野県砂防課のマスコット
「サー坊」

砂防事業キャッチフレーズ

今、日本の屋根信州から新・砂防の発進を

第65回長野県治水砂防協会通常総会

平成15年8月1日（金）、長野市において、第65回通常総会が多数のご来賓の方々をはじめ、県下100余名の市町村長並びに関係者出席のもと盛大に開催されました。

総会では、山田一榮会長の挨拶のあと、来賓として国土交通省保全課長坂口哲夫様、(社)全国治水砂防協会常務理事小林英昭様、長野県土木部長小市正英様、衆議院議員村井仁様、県議会土木住宅委員長下村恭様の5名から祝辞をいただきました。また、議事に先だち砂防事業の促進に功績のあった、久保田元夫氏（前県議会議員）をはじめ13名の方の功労者表彰が行われました。

議事では、平成14年度事業報告・収支決算報告、平成15年度事業計画・収支予算について審議され、いずれも原案どおり承認され、続いて任期満了に伴う役員改選が行われ、山田会長以下新役員が選出されました。さらに、本県の砂防事業の一層の推進を図るため決議文（案）が提案され、満場一致で決議されました。

議事終了後、長野県土木部堀内技術参事兼砂防課長から平成15年度砂防事業の概要等についてパワーポイントを使い、わかりやすく説明していただきました。

砂防事業功労者

くぼた ちとあ 久保田 元 夫	県議会議員任期中、砂防事業の推進に尽力した。特に、H7.7成山地区災害の際、陣頭指揮を取り事業推進に尽力した。また、悲願であった梅木砂防事業建設にも尽力した。
こう づ ひさお 郷 津 久 男	防災体制・緊急避難体制を整え、関係機関に事業の促進を働きかけた。特にH7.7梅雨前線豪雨災害、H8.12蒲原沢土石流災害において東奔西走され、災害対策と砂防事業の重要性を訴え、砂防関係事業の推進に尽力した。
よし ざわ よしあ 吉 澤 義 夫	S34美麻村に奉職、S50から8年間、建設課長、振興課長を務め、砂防事業の指導的役割を果たす。H3からは村長として、現地調査・要望活動など危険地域の解消に努め、村民の生命・財産を守るため尽力した。
たか はし たけ と 故 高 橋 武 人	H11.8豪雨災害は、佐久市東地区に集中し被害は甚大であったが、区長として指揮するとともに、自らも行動し、被害を最小限に食い止めた。その後、砂防堰堤建設のため奔走し、事業推進に尽力した。
くら しな あきら 倉 科 昭 新一 益 雄 水 た 太 一 矢 谷 ち 太 一 平 ひら 口 征 雄 田 とめ 子	長野県治水砂防協会支部役員として永年にわたり管内の治水砂防事業の積極的な促進と支部の発展に尽力した。
すが めま あき ひこ 菅 沼 昭 彦 中 なか まもる 澤 守 野 やす ひで 泰 秀 高 たか やま あきら 山 彬	長野県職員として永年にわたり砂防事業に従事し、事業推進に尽力した。

新役員名簿

平成15年12月5日現在

役名	氏名	職名
会長	山田 一榮	松塩筑支部長（坂井村長）
副会長	寺島 宗正	犀川支部長（生坂村長）
常任理事	腰原 愛正	信濃川姫川水系砂防工事促進期成同盟会長（大町市長）
常任理事	小坂 櫻男	天竜川上流治水促進期成同盟会長（伊那市長）
常任理事	堀内 憲明	上小支部長（丸子町長）
常任理事	綿貫 隆夫	中高支部長（中野市長）
理事	黒澤榮太郎	南佐久支部長職務代理（小海町長）
理事	佐藤 雅義	北佐久支部長（軽井沢町長）
理事	林 新一郎	諏訪支部長（岡谷市長）
理事	山口 一男	上伊那支部長（南箕輪村長）
理事	小木曾亮式	下伊那支部長（根羽村長）
理事	下野戸 豊	木曾支部長（三岳村長）
理事	藤野 一康	豊科支部長（梓川村長）
理事	腰原 愛正	大町支部長（大町市長）
理事	宮坂 博敏	更埴支部長（千曲市長）
理事	黒岩 静男	須高支部長（高山村長）
理事	横川 欣一	長野支部長（戸隠村長）
理事	柳澤萬壽雄	飯水岳北支部長（木島平村長）
理事	福島 信行	姫川支部長（白馬村長）
理事	中村 靖	土尻川支部長（信州新町長）
監事	大日向一繁	八坂村長
監事	小林 三郎	小谷村長
監事	北沢伊純男	美麻村長

○砂防意見交換会

総会に引き続き、砂防意見交換会が開催され、国土交通省坂口保全課長から7月に九州地方で発生した梅雨前線豪雨災害について、全国治水砂防協会小林常務理事から協会の活動状況および大韓民国砂防現地視察について説明を受けた後、役員の方々と意見交換が行われました。

全国治水砂防促進大会の開催と要望活動

平成15年12月2日、東京都・砂防会館において全国治水砂防促進大会が開催され、長野県からは、山田会長以下100名余の会員が参加し、来賓として国会議員、国土交通省関係者多数のご列席のもと盛大に開催されました。

促進大会では、綿貫会長のあいさつ、来賓祝辞に続き、会員代表として、熊本県水保市長江口隆一氏、石川県白峰村長永井隆一氏の両名が意見発表をされました。その後、服部副会長より今後の促進活動並びに大会決議の提案が行われ、満場一致で採択されました。

また大会終了後、山田会長をはじめ役員により、砂防及び地すべり関係事業の促進について、国土交通省等関係省庁及び県選出国会議員へ要望活動を行いました。



平成16年度予算政府原案

政府は平成15年12月24日、平成16年度予算の政府案を決定しました。そのうち、国土交通省関係予算は6兆7,435億円で、今年度予算に比べマイナス3%となりました。

砂防事業は、3,659億700万円で、前年度対比マイナス5%となりました。

砂防関係事業では、修繕事業の補助採択基準の上限値が撤廃され、下限額が引き上げられました。また、砂防環境整備事業が廃止（継続事業については平成18年度）されることになりました。

税制では、土砂災害防止法の特別警戒区域内にある住宅の移転を促進するため、区域外に新たに住宅を取得する場合の税負担を軽減する特例措置が創設されました。

平成16年度砂防関係事業予算内示額

(単位：百万円)

区 分	平成15年度予算		平成16年度概算要求		平成16年度予算内示額		対前年度比	
	事業費A	国費B	事業費C	国費D	事業費E	国費F	E/A	F/B
砂防事業 (地すべりを含む)	301,026	182,368	337,236	205,746	287,007	174,383	0.95	0.96
砂 防 地すべり	263,390 37,636	162,080 20,288	295,142 42,094	183,124 22,622	251,183 35,824	154,977 19,406	0.95 0.95	0.96 0.96
急傾斜地崩壊対策等 事業(雪崩を含む)	84,269	42,186	94,345	47,059	78,900	39,453	0.94	0.94
急傾斜地崩壊対策 雪崩対策	80,696 3,573	40,393 1,793	90,884 3,461	45,322 1,737	75,833 3,067	37,913 1,540	0.94 0.86	0.94 0.86
砂防関係事業計	385,295	224,554	431,581	252,805	365,907	213,836	0.95	0.95

(注) 道路関連社会資本分を含み、特定治水、剰余金等を含まない。

長野県砂防技術研究協議会「砂防と環境」

平成15年9月26日長野県砂防技術研究協議会主催の講演会が長野市において開催されました。「砂防と環境」と題して堀内技術参事兼務砂防課長による講演が行われ、会員および行政関係者約200名が聴講しました。講演では普段あいまいに使われている「環境」「自然」について言葉の定義や概念を論理的に整理し、公共事業に携わる者としてそれを「保全」するためには何をめざし、どう取り組んでいくかなどについて講演していただきました。また、講演の内容についてぜひ本にしてほしいという声が多数寄せられましたので、当日の内容を冊子にし発行しました。



問い合わせ先

長野県砂防技術研究協議会

〒380-8533 (株)守谷商会内

TEL 026(223)6921

FAX 026(223)6960

急傾斜地崩壊対策事業 大岡村 樺内地区にて植樹祭

平成15年9月26日急傾斜地崩壊対策事業により工事が行われている大岡村樺内地区において、大岡村・大岡小学校・土尻川砂防事務所の共催により植樹祭が開催されました。当箇所は大岡小学校北側の斜面で、斜面の崩壊を防止するとともに、花と緑に囲まれたうるおいある斜面づくりをめざし、ニシキギ・ガクアジサイ・ヤマハギなどの苗木を小学校全校生徒ならびに村職員・砂防事務所職員が植えました。植樹祭を通じて防災意識の向上と小学生たちのよい記念になりました。



環境砂防会議

平成15年11月13日（木）、長野保健所会議室において、第11回環境砂防会議（長野県砂防課主催）及び特別講演「信州の河川の生きものたちをみつめて思うこと」（長野県砂防課、長野県治水砂防協会共催）が、多数の方の出席、参加のもと開催されました。

環境砂防会議では、各建設事務所、砂防事務所から日頃砂防事業に従事されている41名の方の参加があり、事業執行上における問題点などを議論し、また環境に配慮した砂防事業の事例発表として、「環境指導者の導入の一例について」（豊科建設事務所）、「現場発生土を有効利用した泥土セメント工法」（犀川砂防事務所）など、5事例について発表していただきました。

環境砂防会議終了後に行われた特別講演「信州の河川の生きものたちをみつめて思うこと」では、講師に大町市立博物館学芸員の倉田稔先生をお招き致しまして、砂防環境会議出席者のほか市町村や土木振興会の職員の方の参加のもと、総勢71名の方が先生の講演に熱心に耳を傾



砂防環境会議における事例発表の様子

けました。

この中で先生は、河川や湖沼に棲む虫たちの数が激しい勢いで減少していることをご自身の諏訪湖周辺での調査の体験から話されました。また、ヒトの健康や長寿の原点は飲水にあり、自然の湧水がヒトをも育てると、ヒトと自然との関わり合いもお話しされました。先生はユーモアも交えてお話しされましたので、会場内は終始、笑いが絶えないほどでした。

多くの出席、参加、誠にありがとうございました。この場をお借りしましてお礼を申し上げます。



倉田先生の特別講演

大韓民国砂防視察と文化交流会

2001年9月に韓国で、2002年6月に東京で開催された日韓両国の職能文化交流会の第3回大会が2003年9月に韓国で開催された。それに合わせて「日韓砂防講演会」「韓国の砂防視察」が(社)全国治水砂防協会において計画されたので長野県治水砂防協会でも15年度事業として取り組む旨の通知があった。韓国では、近年集中豪雨による災害が多発しており、地形・地質・気象が似ている我国に対しても多くの教訓を与えているとのこと。他国の実状を見学できる機会なので、私も参加させていただくことにした。



第1日目（9月4日）

13：40名古屋発OZ（アジアナ航空）121便で韓国へ。当初9月3日に出発の予定だったが、長野県町村長大会と重なり町村長が誰も参加できない事態となるため4日の出発になったとのこと。

第2日目（9月5日）

雨。午前は山林緑化現場視察のため八角亭へ。「こ

こは軍事上重要な地域のため市街地を望む写真は撮ってはいけない」とガイドさんが言っていたが、なるほど。銃らしきものを持った兵士が要所要所に立っている。八角亭に着いた時はどしゃ降りの雨だった。せっかくなのでバスから降りたが、霧で市街地はおろか現場も見えない。何をしに来たんだろう。

午後は文化交流会のためセントラルシティへ。4時間以上座っていたので尻が痛かったが、祝辞や講演の合間にチマチョゴリのファッションショーや舞、子供たちの歌などすばらしい公演があり楽しい交流会だった。



第3日目（9月6日）

午前は自由の橋と統一展望台を見学。国境は鉄柵や有刺鉄線でさえぎられ、北朝鮮との距離を感じた。

午後は砂防現地視察。全国治水砂防協会で紹介していただいた江原道は日程的に無理なので、前回韓国へ来た時と同じ現場を見ることになったとのこと。

大きな現場ではなかったが、コンクリートではなく自然石を用いての護岸整備に感心した。

第4日目（9月7日）

11：00ソウル発OZ122便で帰国。

この4日間お世話になった韓国のガイド、チャンさんはとても元気な人で、大変楽しく過ごすことができた。韓国の生活習慣、食文化、財テク法まで知ることができたのはチャンさんのおかげだろう。これこそ文化交流ではないだろうか。

姫川砂防事務所所長 平沢 清



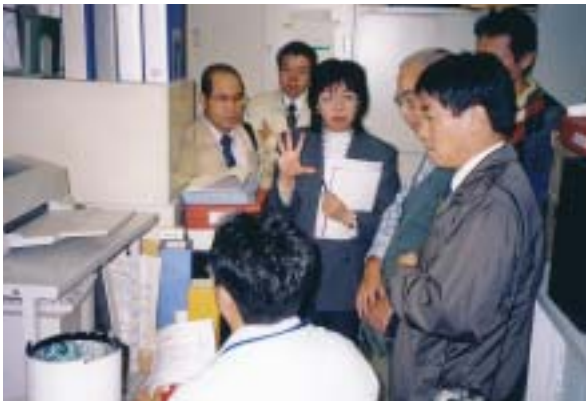
台湾・ネパールの砂防技術者が県内視察

台湾と日本との間の砂防技術の交流を目的とした県内視察が、(社)全国治水砂防協会の主催により、平成15年11月6日（木）～7日（金）及び11月12日（水）の2回にわたり行われ、林信輝国立中興大学水土保持系教授ら延べ11名の方が、昭和59年の長野県西部地震災害の復旧現場や御岳山の火山監視システム、牛伏川や富士尾沢川（穂高町）で施工された環境に配慮した砂

防施設などを視察しました。

西部地震で御岳崩れからの土石流が流下した伝上川では、災害の規模の大きさに驚くとともに、緊急の対策工法に関心を示していました。また、大正時代の施設が残る牛伏川では、天然石の石積護岸の構造に関して、現場や平面図を見ながら意見交換がなされました。

また、11月20日（木）～21日（金）にかけては、土砂災害対策に関するジャイカ主催の研修が行われ、ネパール水資源省治水砂防局クリシュナバハダールシン氏が訪れました。地すべり対策工法における排水トンネルの現場や地附山地すべりの復旧の現場を視察しました。ネパールでは、技術者の不足や予算面から十分な対策が実施出来ないことから、土砂災害情報の提供などのソフト対策を中心に熱心に研修されていました。



御岳山の火山監視システムを見学



牛伏川の溪流保全工法を見学

時すべりの排水トンネルを見学

長野県地すべり防止工事士会 NPO法人を取得

長野県地すべり防止工事士会（理事長：山口修氏）が、平成15年10月に全国に先駆けて特定非営利活動法人(NPO)を取得しました。NPO法人化は、長野県内の土木農林関係の団体の



中でも初めてです。

11月21日には成立記念パーティーが長野市内のホテルで開かれ、来賓として、長野県土木部技術参事兼砂防課長の堀内成郎氏を初めとして、信州大学名誉教授の北澤秋司氏、21世紀ボランティアセンター代表の丸田藤子氏らがあいさつし、NPO法人化への期待を述べられました。会では、行政職員を対象とした講習会や高等学校などでのゼミナールを開催してきており、今後、地域の防災の専門家として、防災という観点でのボランティア活動の中核となることが期待されます。今回の法人化により、活動を一層強化し、土砂災害に対する地域の安全に大きく寄与できるものと思われま

山口 修 理事長

平成15年の定礎式・竣工式

日向山砂防えん堤定礎式

平成15年5月29日（木）

事業箇所：虻川 豊丘村 日向山
事業期間：平成9年度～平成20年度
事業費：15億円
事業概要：砂防えん堤 H=23.5m L=105m
出席者：佐藤友昭県議
豊丘村 吉川村長ほか
県 堀内課長



吉川豊岡村長

日かげ沢砂防事業完成式

平成15年11月7日（金）

事業箇所：日かげ沢 小谷村 大別当
事業期間：昭和55年度～平成15年度
事業費：14億3千万円
事業概要：砂防えん堤3基、床固工群他
出席者：宮沢敏文県議
小谷村 小林村長ほか
県 佐藤補佐



小林小谷村長

表紙写真より

(御柱祭写真提供……下諏訪町役場)

今年は7年に1度ごとに行われる諏訪大社「御柱祭(おんばしらまつり)」の年にあたります。

当該箇所は、山腹崩壊・溪岸侵食防止対策の一環として実施されましたが、対岸が「御柱祭」最大の見せ場「木落とし」の舞台となることから、観客席としても利用ができるように、階段状の空石張としました。

●第34号

発行 長野県治水砂防協会

〒380-8570

長野市大字南長野字幅下692-2

長野県土木部砂防課内

TEL 026 (232) 0111 (代)

FAX 026 (233) 4029

印刷 (株)信光社 026 (235) 5181